

設 立 趣 意 書

今、世界では新型コロナウイルス感染症をはじめ、人獣共通感染症が多発し人と動物の健康が脅かされ、生態系の変化が進む中で、ワンヘルスの実践は喫緊の課題となっています。

2016年11月、福岡県北九州市において「第2回世界獣医師会・世界医師会ワンヘルスに関する国際会議」が開催、ワンヘルスの実践の礎となる「福岡宣言」が発せられ、ワンヘルスの実践活動の契機となりました。

その中で、医師会と獣医師会では、人との動物の共通感染症、薬剤耐性対策等を含む「ワンヘルス」に関する重要な課題について情報交換と有効な対策の検討が行われ、「ワンヘルス」の概念を検証し、認識する段階から、「ワンヘルス」の概念に基づき行動し、実践する段階に進むことが決意されました。

加えて、2020年12月に福岡県議会では全国に先駆けてワンヘルスを推進するための「福岡県ワンヘルス推進基本条例」が制定され、2021年1月に公布・施行されました。

この条例では、「動物と人の健康及び環境の健全性は一つのものである」というワンヘルスの理念に則り、ワンヘルス関係団体は、市町村の取組みに協力し、先導的なワンヘルス推進活動に取り組むよう努めるものとされました。

このような現状の認識に立って、われわれは、ワンヘルス推進活動を通じて、人の健康、動物の健康、環境の健全性を守り、情報の共有を図るとともに福岡県民をはじめ多くの市民団体、関係機関等とのネットワーク創りを通して、ワンヘルスの普及発展に寄与したいと考えています。

我々の活動が、将来に向けて実りあるものに発展することを願っています。

令和3年5月10日
福岡ワンヘルス協議会
設立代表者 藏内勇夫